



スポ GOMI 甲子園 2021 全国大会に出場した
阿南高校「チームななん」と
応援に駆けつけた同窓会関東支部の皆さん

(発行)
阿南高校同窓会
(編集)
会報編集委員会
(印刷)
龍共印刷(株)

コロナ禍の中、誰とも会えない孤独感や、やりたい事ができない閉塞感に苛まれた昨年、同窓会活動も停滞し会員相互の親睦をはかる事のできない年となりました。少子化に伴う生徒数の減少は辺境の地の母校にとりまして存続の為の生徒数確保が喫緊の課題となっております。生徒や保護者、地域にとって魅力があり必要とされる高校にするため平成30年に「魅力ある高校づくり委員会」が設置され、「学力の向上」を魅力づくりの第一歩とする提言を頂きました。

提言を受け同窓会は公設学習塾の開設が有効手段と位置付け各方面に働き掛けを行い、阿南高校、阿南高等学校協力会(阿南町・下條村・売木村・天龍村・泰阜村)のご理解とご支援により新年度中の開講が実現する運びとなり



地域と共に魅力ある高校づくりを

同窓会長 宮島久男

ました。各町村とも財政難の中、決断して頂き心より感謝申し上げます。公設学習塾が進学率向上と地域を支える人材育成に繋がる事を願っています。

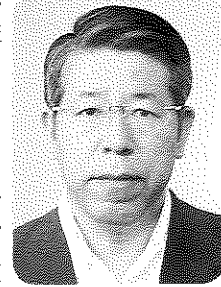
昨年10月には阿南町と愛知東邦大学(名古屋市)、修文大学(一宮市)の間でそれぞれ包括連携協定を締結しました。校長、町長が推薦する生徒を大学が受け入れ、卒業後は地元に戻り就職するプログラムを構築し、若者の地域定着、地域の発展に寄与する人材育成を目指すプロジェクトです。修文大学との協定では、安定的に地域医療の担い手育成、確保を図る目的で事業化した町の「医療職修学資金貸与事業」を活用し、同協定に基づく第一号の推薦生徒が、今春入学する事になり、道筋を付ける事ができたことは大きな一歩であります。

母校の繁栄に会員の皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。困難な時代で有りますが、同窓会の諸事業が各方面で活発に開催されます事をご祈念申し上げます。

関東支部

母校のスポゴミ甲子園出場に感動

関東支部長 木下 長義



の活躍に励まされ感動をいっぱいもらった嬉しい一日となりました。

数年前、野球部が夏の県大会で、3回戦まで進出した際には、同窓生数人で上田球場まで応援に出かけました。

在校生の活躍が同窓生に勇気と喜びを与え、同窓生の社会での姿が在校生を励ます、そんな循環関係を築けたらと願っています。

皆様、こんにちは。私は佐々木前支部長の後任で19回生の木下長義と申します。今、70周年名簿の写真を眺めつつ、キラキラ光る天竜の川面を阿南クルーのボートが矢のように滑っていった雄姿を思い浮かべております。

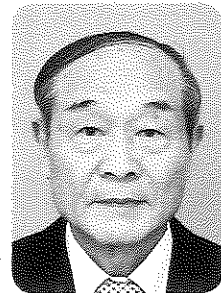
半世紀前は地元6町村で650人もいた中学同期生が今では100名前後のこと。最近では、関東方面への卒業生も減少し、会員の高齢化もあって、会の活動や運営にも頭を痛めております。

そんな昨年の暮れに「スポゴミ甲子園決勝大会(東京)」に母校が長野県代表として出場するとのニュースが飛び込み、役員みな「何か応援を」とわき立ちました。大会当日は会場に5名の同窓生が応援にかけつけ、差し入れと生徒会への寄付をさせていただきました。母校の選手の皆さん

中京支部

行くつよ 同窓会に

中京支部長 金山 明弘



こんにちは。私は、本年度より中京支部長を拝命しました金山です。昭和41年卒の飯田市千栄出身です。よろしく願います。

さてこの2年間、コロナ禍で3密を避け、自粛自粛の生活を余儀なくされました。この状況は全世界で見られ

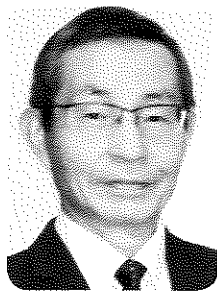
たわけですが、国民性と申しますか国によって対応が大きく違っており、日本は真面目できっちり守っていますが、欧米では感染者が日本の何倍も多いのに、あっけらかんとしているのを見ると、何とも不思議な感じですが。

第5波も大分下火になったと喜んだのもつかの間、オミクロン株がやって来ました。もう少しガマンしましょう。ところで今、同窓会活動は曲がり角にきていると言われている。現に、同窓会支部を廃止した学校もあります。

関西支部

新たな同窓会活動

関西支部長 佐々木 孔基



同窓会の意義について、もう一度考えてみましょう。同窓会活動は、それぞれの地域で活躍されている年代を越えた同窓生の仲間意識を育み、親睦を深めること、そして母校の生徒たちが楽しく有意義な学校生活を送れるよう支援することだと私は思います。それには、同窓会活動に一

人でも多くの同窓生に参加して頂くことから始まります。中京支部としても、高齢化が顕著であり、同窓会開催案内を発送しても、中間層以下は反応がありません。そこで、その打開策として50代をターゲットに、まず同年会開催を推奨する手紙を発送しました。同年会を開催したら、補助金を出しましょう。そして同年生と一緒に同窓会に来てねと。昨年12月に発送し、現段階では全く反応なし。さて、次の一手は？

限定されております。

コロナウイルスは容易に変異を繰り返す、現段階ではオミクロン株が世界中で大流行しているとの報道がされております。同時にデルタ株の変異した株もまた世界中に感染を広がっているといわれております。これら以外にも世界中で刻々変異を繰り返すことを考えると簡単には収束しないのでしよう。いずれ一般の風邪並みになると見られていますが、その時期は少なくとも今後数年はかかると専門家は



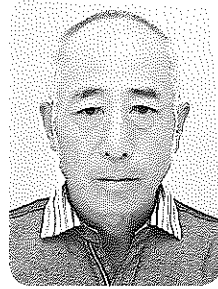
見ているようです。コロナはこのような状況ですが広く感染症を見るとコロナ以上に厄介な感染症の流行のリスクを指摘する人もいます。数年で収まり以前の生活ができるようになることを期待してありますが、更に長期にわたる可能性も少なくありません。

このような生活が継続することに備えた同窓会活動も考えておく必要があると思います。岸田首相はデジタル田園都市構想をすすめようとしております。これはデジタル技

阿南支部

支部活動に向けて

阿南支部長 伊藤 公市



阿南支部は、母校の地元支部として、常に積極的な取り組みをと考えてはいますが、ここ2年余りコロナの影響もあり、総会も含め活動が停滞してしまつたところです。

その中で昨春秋、町と学校と愛知県の愛知東邦大学・修文大学との間で、町の医療職修学資金貸与事業の活用によ

術の活用、地域の個性を生かしつつ地方を活性化しようとするものです。この流れに乗る際、WEB会議を導入し、阿南町の会場に一堂に会することなく、各地にいて同窓会に参加できるようにしては如何でしょうか？

馴染みのないことではあります。補助金も出ると思われますので有効活用し、日本の先端を走るデジタル同窓会も一考の余地がありそうです。

阿南病院を中心とした地域の医療の安定的な担い手育成・確保のための包括連携協定が結ばれており、それにより先日、4年度の推薦入学者が決まつたとの話をお聞きし、大変うれしく思っております。

学校は、3年度から進学コースと地域探究コースの2コース制に再編して取組まれています。

同窓会も本会を中心に、地元町村の高校協力会とも連携を強化しながら、学習塾への具体的な取組みを、進められたいと思います。

泰阜支部

多難の情勢下 学校・PTA・同窓会が一体となつて

泰阜支部長 玉井 久男



コロナ禍で迎えた新年も、あつと云う間の第6波により、飯田管内でも急速に感染が拡大しこの2年間は世界中がこの厄介なウイルスに振り廻されて一向に収束の気配が感じられません。

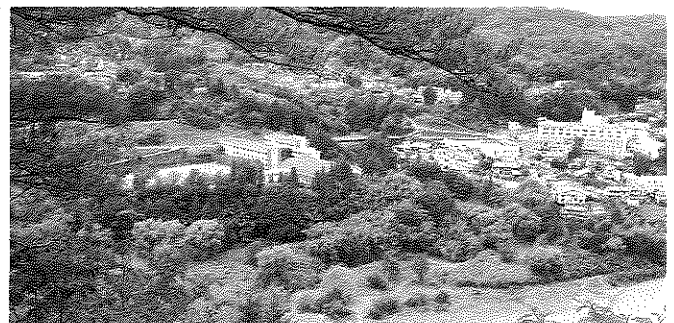
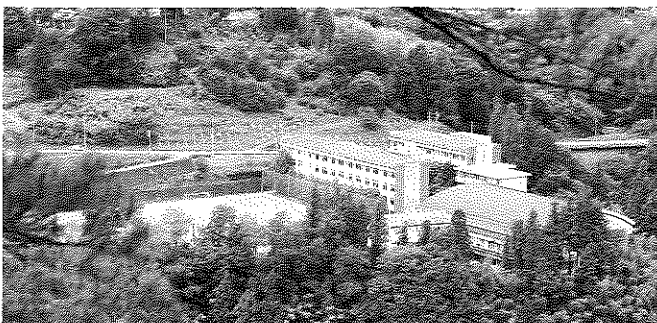
泰阜支部は日常生活の行動が狭められる中での活動は全くできず今日に至つております。只「会報」だけは地区の役員を通じて直接配布し併せて会員の集金をお願いしているところでありまして。一日も早く規制が緩和され、同窓会の活動が再開できる日を願っております。

長い間阿南地区住民の悲願であつた阿南高校設立に向けての誘致運動は当時の皆さん

支部活動も、地元出身の生徒は年々減る一方ですが、学校周辺の美化事業はむろん、今後大きく変わると思われる

が大変ご苦労されたとお話はよく耳にします。温田稚蚕所附近に仮設の校舎で昭和25年4月から130名で始まつた阿南地区初めての高校と云う事で、地元の人達の「思い入れ」は非常に強いものがあり、特に当時の南地区でも大勢の学生が通学してました。私が入学した当時(昭和40年)……それは何をしても元気がありません。50年後の現在は少子高齢化の影響もあつて生徒の減少が著しく、高校再編の動き等もある中で存続をかけた学校運営も大変だろうと推測されます。いつまで経つても先の見えないこのような状況下で同窓会として何ができるのか？難しい課題であります。学校・PTA・同窓会が一体となつて前進することがこれからの「地域のための魅力ある学校づくり」に繋がっていかねばと思います。

社会的環境変化にも対応できるように、本会とも協力して支部活動に努力していきたいと思ひます。



泰阜村より見る母校

阿南町と2大学が協定

地元就業希望者を町長が推薦

昨年10月、阿南町は愛知東邦大学(名古屋市)、修文大学(一宮市)と、それぞれ包括連携協定を結びました。阿南町長が推薦する阿南高校生を大学が受け入れ、町内のインターンシップなどを経て、卒業後は町内で就職するプログラムの構築し、若者の地元定着、地位の発展に寄与する人材の育成を目指すものです。

各大学で開いた締結式には、勝野一成阿南町長、勝又司町教育長、浅井真也阿南高校校長、宮島久男同窓会長らが出席しました。

勝野町長は、「高校卒業後、多くの人が地域外に出て行ってしまいう現状である。大学での学びやインターンシップなどを通じて心身を磨き上げた学生が地元に戻ってくることに非常に重要なこと」とし、両大学の理解と協力に感謝しました。

また、浅井校長は

「ずっと中から地域を支える視点と、一度地域を出て外から客観的に地域を見つめる視点の両輪が地域の発展には必要。町と大学の連携により、仕組みとして外からの視点を持つ学生を育成していただければありがたい」と町と大



阿南町と愛知東邦大学との包括連携協定 締結式

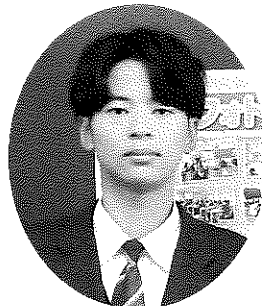
愛知東邦大学との包括連携協定締結式にて

第23回 同窓会ゴルフコンペ

開催日：令和4年6月11日(土)

場所：飯田カントリー倶楽部

多くの皆様のご参加をお待ちしています



古瀬太一さん

学の新たな取り組みを歓迎しました。

◆◆◆

このたび、修文大学看護学部へ阿南高校3年生の古瀬太一さんが、包括連携協定に基づいた町長推薦により、初の合格者となりました。

た区域で制限時間内にごみを拾い、その量と質をポイント化して競うもので、競技中は走らない、ごみはきちんと分別する、時間内に出発地点に戻るといったルールがあります。



全国大会にて

昨年9月、当時生徒会美化保全委員長だった金田菜生さん(3年生)は、長野市で開催された「スポGOMI甲子園2021長野県大会」に、同学年の土屋拓哉さんと牧内勇樹さんとチームを組んで出場し、見事優勝を果たし、全国大会に進出しました。

スポGOMIは、指定された区域で制限時間内にごみを拾い、その量と質をポイント化して競うもので、競技中は走らない、ごみはきちんと分別する、時間内に出発地点に戻るといったルールがあります。

校チームは、全チームのごみ回収総量の3分の1を超える2.9kgを回収し、見事優勝されました。

また、全国大会は、昨年12月に東京都墨田区で開催された全国から県大会を勝ち抜いてきた30チームとごみ拾いを競い、阿南高校「チームななん」は18位の成績を納めました。

スポGOMI甲子園

県大会で優勝!! 全国大会へ



令和2年度 阿南高校同窓会 一般会計決算書

(令和2年6月1日～令和3年5月31日)

収入金額 1,564,672 円
 支出金額 1,231,635 円
 差引残額 333,037 円

1 収入 (単位:円)

科目	決算額	備考
1 会費	978,000	
(1)入会金1	340,000	令和3年4月入学生 5,000円×68名
(2)入会金2	192,000	令和3年3月卒業生 3,000円×64名
(3)年会費	446,000	同窓生1,000円 418件
2 諸収入	19,751	預金利息、冊子販売他
3 繰入金	0	永年会費特別会計からの繰り入れ
4 繰越金	566,921	令和元年度繰越金
合計	1,564,672	

2 支出 (単位:円)

科目	決算額	備考
1 事務費	184,002	事務費、需用費、交際費、 通信費、手数料
2 会議費	9,916	総会費用等
3 活動費	987,717	会報印刷費、支部活動交付金、 卒業記念品他
4 基金	50,000	クラブ活動助成
5 返済金	0	
6 備品費	0	
7 予備費	0	
合計	1,231,635	

「南宮学習塾」への支援を

近年の少子化に伴い生徒数の減少が続き、高校の存続が危ぶまれる現状に危機感を覚える中で、「魅力と特色ある阿南高校づくり」を進めるため、阿南高等学校協力会（下伊那南部5か町村、同窓会、学校による構成組織）が生徒の学力向上と就職支援の取り組みを進めることになりました。

そのための「南宮学習塾」を設置し、令和4年度（令和4年4月1日）開講を目指して準備を進めております。「南宮学習塾」では、地域一丸と

なり生徒を支援していく体制を整え、学習効果の向上や学習意欲を喚起し、また、社会人としての基礎力を育成するなどの支援をしていきます。

同窓会も塾運営を積極的に応援していくことになり、令和4年度からの支援が始まります。会員皆様の力強いご協力とご支援をお願いします。

皆様から寄せられた会費は、4月から始まる塾運営支援や母校活動支援、会員相互の連携、会報発行等に使用させていただきます。年会費は1000円で郵便局専用の振

込用紙を使うか、郵便局備え付けの振込用紙を使用してお願いたします。

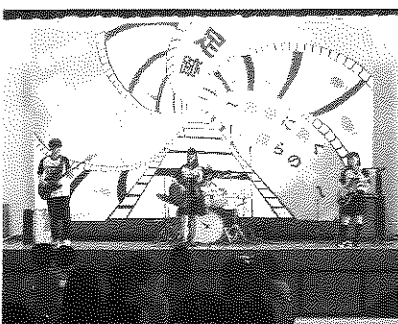
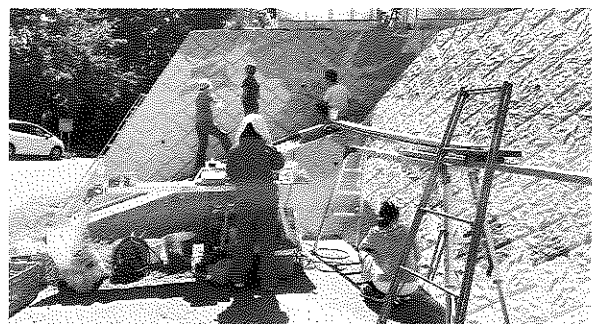
※加入者名
長野県阿南高等学校同窓会
※口座記号番号
00540642605

平成23年度から取り扱いを始めた永年会費を納入していただいた会員の方は、年会費は免除扱いとなっておりますが「南宮学習塾」開講等へのご支援をいただければ有り難く思います。

「南宮学習塾」開講の詳細については、3月末同窓会ホームページに掲載します。
(会計及び事務局)



美術部 平石サボテン広場壁画作成



阿南祭 軽音楽部



阿南祭 郷土芸能同好会



同窓会環境整備事業(校舎周辺草刈)

校より 学だより

コロナ禍をチャンスに変えて 新たな飛躍の年にく

学校長 浅井真也



会員の皆様方には日頃より本校の教育活動の充実のために多大なるご協力とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

令和3年度は68名の新入生を迎え、188名でスタートし、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら様々な行事・大会を実施することができました。高校総体では、ソフトテニス部と陸上部が県大会に出場し、吹奏楽部が吹奏楽コンクールで銀賞(奨励賞)を獲得するなどおおいに活躍しました。また、阿南祭では保護者の皆様、下伊那南部地域の方々を招いて昨年度以上に多くの方に来校していただき成功裏に終えることができました。

拡大により、学校現場は大変な状況となつてしまいました。本校では昨年よりICT機器を用いた授業やオンラインによる授業の研修を重ねており、現1年生からは各自iPadを購入し一人一台端末を活用した授業を実施しておりましたので、始業式翌日から9月中旬にかけて全学年の完全オンライン授業を実施することができました。課題はありますが第6波や台風・豪雨によるJR飯田線の運休時にも、オンライン授業で学びを継続するめどが立ち、本校の学びの大きな転換期となった2学期の始まりでした。

12月には、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で開催された高校生のごみ拾い日本一を競い合う「スポGO MI甲子園」で、本校生徒会役員の3年生3名が長野県大会で優勝し、東京都墨田区で行われた全国大会に出場しました。大会では同窓会関東支部の皆さんが駆けつけてくださり応援していただきました。大変感謝いたします。大変感謝いたします。学力向上、生徒の進路指導の充実についてはここ数年来の重点課題の一つとなつていますが、10月1日に阿南町と名古屋市の愛知東邦大学、一宮市の修文大学との間で包括連携協定が締結されました。これは本校の生徒がこの2校への進学を希望した場合、町長推薦によつて大学入学が許可され、卒業後は阿南町に就職して地域を支える人材として活躍してもらおうシステムです。これにより大学進学希望者に新たな道が開け、地域への貢献につながるものと大変期待しているところであります。



中学生とのオンライン交流会

さらに、宮島同窓会長様を中心に南部5町村に働きかけていただき、本校生徒の学力向上のための公営の学習塾の開設に向けた検討が始まり、関係者による専門委員会が設置され協議が進んでいます。生徒の進路実現を側面から支援していただき、大変ありがたく、心強く感じております。このように、同窓会長様をはじめとする同窓会員の皆様のおかげで、コロナ禍ではありますが、本校の教育環境、教育体制が大きく発展しているところであります。



福祉コース 学習発表会



情報ビジネスコース 稲刈り

会員の皆様には引き続き本校へのご支援ご協力のほどよろしく申し上げます。